

図書館通信

静岡大学附属図書館報 NO.168 2016.4

目次 ■卷頭言 ■学習相談はチューターズフロントへ! ■図書館ギャラリー企画展報告 ■図書館利用学生モニター活動報告 ■教員等著作寄贈図書一覧 ■図書館の動き ■図書館開館日程

卷頭言

図書館と出会い



館長 澤田 均

新入生の皆さん、ようこそ静岡大学へ。といつても、この冊子を5月以降に受け取った人も多いと思います。ユリノキの花咲くキャンパスで学生生活にすっかり慣れた頃合いかもしれませんね。この間、皆さんは図書館をどのくらい訪れましたか？ 今日の図書館利用セミナーで初めてという人、これからぜひ利用してください。2年生以上の皆さんも引き続きよろしく。

学生時代は時間を自由に使え、ハードな読書ができる貴重な期間です。若いときの頭脳は吸収力も高く、鍛えがいがあります。在学中、多くの良書と出会い、成長の糧とされるよう願っています。読書にはよく3つの読書があると言います。人生について学び考えるための読書、仕事のための読書、そして楽しみの読書です。阿部謹也さんの『読書力をつける』を読むと、人生を考えるための読書とはどんなことかよく分かります。仕事のための読書といえば、皆さんの場合は学業が仕事です

から、普段の勉学のことですね。おもしろいと思えるようになると楽しいのですが、その境地に達しないと味気ないもの。リフレッシュも必要でしょう。そこで、楽しみの読書となりますが、大学図書館は一般書が手薄です。そちらは市内の公共図書館を利用してください。

皆さんは、これまでどんなふうに本と出会ってきましたか？ アマゾンのようなウェブサイトで？ 書店や図書館で？ 誰かに薦められて？ 新聞の書評も、好みの新刊本を見つけるのに便利ですよ。主要な新聞は日曜日に書評が載りますので、勉強の合間に新聞コーナー（静岡本館は4階）で読んでみてください。私も過日、野矢茂樹さんの『哲学な日々－考え方の時代に抗して』を見つけ、哲学のこと、論理のこと、座禅ゼミのことを探して読みました。特におもしろかったのは「案外ダメな授業」。このくだりを読んだ翌日の授業で、思わずライブ感と思考のプロセスを出したくなりました。論理的な文章や日本語の技術の反復練習など、皆さんが読んでも役立つ内容満載ですので、ぜひご一読を。野矢さんは「この本で私は、どういう衣装を着て読者の前に立つか。もちろん哲学者という服も大学教師という服も着る。<中略>しかし、仕事着ばかりではなく、普段着でも登場する。さらには、本来無一物とか言って素っ裸で現われもする。迷惑、かな。やっぱり。」とまえがきしていますが、ちゃんと穿いていますので、ご安心ください。『新版論理トレーニング』もお薦めです。

新聞コーナーには各紙とりそろえています。私も、ときどき日本経済新聞を見ます。実は昨年、文化面で思いがけない再会をしました。それは、井上史雄さんの「現代ことば考」というコラムを

読んでいて・・・。どこかで聞いたお名前、方言のご研究も微かに記憶していました。何と、大学1年生のとき、井上先生（ここから先生とお呼びします）の講義を受けていたのです。あれから40年、紙面で再びお目にかかるとは。少し調べてみると、静岡でも新方言「じゃん」の調査をされていました。

「じゃん」といえば、横浜発祥と思っていたが、静岡の方が古いそうです。そういえば、地元の年配女性が「じゃん」と使うのを耳にしたことがあります。そもそも100年以上前に山梨で始まり、大正・昭和に静岡に広がり、沿岸伝いに横浜に広がったのだそうです。先生は今、若い人が使う「じゃね」に注目され、100年後も使われているか確かめられないのが残念とのこと。皆さんも、このように図書館で先生方と再会できるかもしれませんよ。井上先生は、「アーマラトマト」や特別栽培米「やら米か」のような方言グッズも多数収集されているそうです。

静岡大学のビジョン「自由啓発・未来創生」には、土地の言葉「やらまいか」のスピリットも込められています。図書館がしっかりとサポートしますので、新しいことに挑戦できるよう準備を怠らず、精一杯学問に励んでください。

松平定信の「知」の探求



分館長 高松良幸

本誌166号に「図書館と『木村蒹葭堂のサロン』」という一文を2年前に執筆しました（本誌のバックナンバーは、附属図書館専用ホームページ>広報・刊行物>図書館通信のページ〈<http://www.lib.shizuoka.ac.jp/koho/tsushin/>〉で読むことができます）。蒹葭堂は「なにわ知の巨人」と称されるように、町人の街大坂で書物や各種標本類などの収集、研究を通じて「知」を探求した人物です。いわば「民」の知の巨人とい

べき人物ですが、その蒹葭堂と同じ時代を生きた「官」の知の巨人というべき人物がいます。松平定信です。

松平定信というと、江戸幕府の三大改革の一つである「寛政の改革」を老中として主導した政治家と記憶されている方が多いでしょう。その一方、幼時から読書、学問を好み、自らも『宇下人言』、『花月草紙』などの隨筆を執筆した文化人としても知られています。

その基盤となつたのが、書物を中心とした広汎な「知」に関する情報の収集と整理です。定信の蔵書に関しては、朝倉治彦監修『松平定信蔵書目録』（ゆまに書房）という本に膨大な量が紹介されていますが、それは定信の蔵書の一部に過ぎません。また定信は臣下の画家たちを全国各地に派遣して、各地に遺る古文化財の模本、各地の風景などのスケッチ、各地の文化人の肖像画などを膨大な量制作させています。定信は『退閑雑記』という隨筆の中で、写実的な絵画は言語によっては伝え得ない情報を伝える上で大きな効用があるという主張をしており、「知」の探求にさまざまなメディアを活用していたことがうかがい知れます。

先日もテレビ番組で紹介されていましたが、江戸幕府を開いた徳川家康は読書を好み、それを自らの天下取りに活かした人物でした（「歴史秘話ヒストリア・戦国一の読書オタク・徳川家康！」NHK総合、2016年2月10日放送）。その後の幕府の歴代将軍・重臣たちにも読書家が多く、そこから得た情報を治世のための「知」として活かす文治政策が続きました。定信の「知」の探求は、このような幕府の政策に自らの好学の志が相まった成果と言えるものです。

もう一つ、定信にしても蒹葭堂にしても、その「知」の探求の対象が、歴史に関わること、自然に関わること、人間に関わることなど多領域であることが注目されます。幕政を執るという上でも、一町人として生きるという上でも、幅広い「知」の探求とそこから物事を考えていくことが重要であることを、この二人の「知の巨人」は教えてくれます。

大学という場では、学部専門課程、大学院と進んでいくにつれ、専門領域のみに学習、研究の対象が絞られ、他の領域への関心が希薄になります。しかし、二人の「知の巨人」にならうならば、よりよく生きていくための「知」の探求は、多領域に及ぶ必要があります。大学図書館は、そういう「知」の探求の場でもあるのです。

学習相談はチューターズフロントへ！

チューターズフロントは、学生の皆さんのが大学での勉強についてわからないことがあるときに、頼りにできる大学院生が学習相談を受け付けるものです。授業内容を理解するための手助け、どうしたら問題解決できるかななど、先輩の立場でヒントやアドバイスを提供してもらえる場所です。「先生に直接質問に行くほどのことではないのだけど…」「友達に聞いてもいいけどタイミングがないし…」というときにもぜひ利用してください。

2つのキャンパスそれぞれに下記のような特徴があります。チューターを活用して、大学での学びをスムーズに進めましょう！

【静岡キャンパスのチューターズフロント】

附属図書館 5F ハーベストルームで実施しています。数学あるいは物理を専門とする大学院生がチューターを担当します。数学や物理に関係することだけでなく、教養科目のレポートの書き方や PC の使い方など、大学での勉強の仕方全般の相談を受け付けます。

【浜松キャンパスのチューターズフロント】

S-Port2F グループワークエリアで実施しています。工学あるいは情報学を専門とする大学院生がチューターを担当します。数学、物理、実験など、専門科目に関するみなさんの相談に対応します。専門科目以外にも、教養科目や PC の使い方など、大学での勉強の仕方全般の相談を受け付けます。

【いつやっている？】

チューターズフロントの開設スケジュールは、図書館の Web サイト（下記チューターズフロント専用ページ）でチェックすることができます。

【どうやって使う？】

予約は不要。開設時間中はいつでも、学習相談チューターの腕章をつけている人に気軽に声をかけてみてください。ちょっとした質問も、手ごわい質問も大歓迎です！

<http://www.lib.shizuoka.ac.jp/top/?tutor>（下記の QR コードもご利用ください）



チューターが親切に対応してくれます！

〔写真は浜松キャンパス〕

（文責：大学教育センター 坂井敬子）



詳しい開室日、
Webで
確認してね！

【図書館ギャラリー企画展報告】

【静岡本館ギャラリー】

	開催期間	企画展名	主催
第1回	2015年 4/7～4/28	FFP	教育学部美術 学生
第2回	8/27～9/11	GestaltZerfall	教育学部美術 学生
第3回	10/13～10/23	Butterfly Effect	教育学部美術 学生
第4回	11/17～12/8	美少女のミカタ	教育学部美術 学生
第5回	12/10～12/18	由比リアル	人文社会科学部文化人類学コース
第6回	2016年 1/6～1/26	フィールドワーク写真展「前へ～バングラデシュ に生きる人々～」	教育学部「地域調査」受講生
第7回	2/2～2/9	静岡の教育—ICT・教職・防災・政治教育・AL・ 教育評価—	教育学研究科「中等教育の総合 研究」受講生

【浜松分館ギャラリー】

	開催期間	企画展名	主催
第1回	2015年 9/30～10/15	学生推薦図書展示	附属図書館学生モニター
第2回	10/16～11/11	いつの時代も写真だった	静岡大学写真部、浜松工業会
第3回	12/1～12/18	浜松工業会会員絵画展	浜松工業会
第4回	2016年 3/7～3/23	静大浜松モデラーズクラブコンテスト	静大浜松モデラーズクラブ



Butterfly Effect



美少女のミカタ



由比リアル



フィールドワーク写真展



いつの時代も写真だった



浜松工業会会員絵画展

【図書館利用学生モニター活動報告】

図書館利用学生モニター(以下「モニター」といいます)による、平成27年度における活動状況について、ご紹介します。

ポップ作成講座

お勧め本のPOP(ポップ)作成のコツを学びました。作ったポップが、展示で活躍しました。



「しおりを作ろう！」

テクノフェスタin浜松にあわせて、しおり作りのワークショップを開催しました。



モニター選書

モニターが書店に直接出かけて、学生用図書を選書しました。選書後は、推薦の言葉を添えて展示しています。



「学生推薦図書展示」

浜松分館ギャラリーで、お勧め図書の展示を行いました。



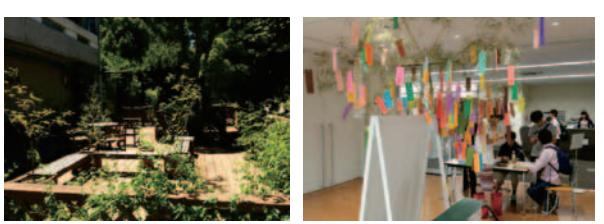
モニターア会議

館長、分館長が主催する会議です。モニターと館長等との間で、さまざまな意見が交わされました。



緑のカーテンと笹飾り

夏、図書館に緑のカーテンを設置しました。7月には浜松分館で恒例の七夕祭りの飾りつけも行いました。



～教員等著作寄贈図書一覧～

●静岡本館受入

◇上藤一郎（人文社会科学領域）

- ・統計と統計理論の社会的形成 [北海道大学図書刊行会] <編著者> 静・開架 【350.1/T029/1】

◇大野旭（人文社会科学領域）

- ・Монгол хүн ба соёлын их хувьсгал. Дээд [”Шинэ енгэ” ХХК-д хэвлэв] <著者> 静・書庫 【222.6/Y72/T1】
- ・Монгол хүн ба соёлын их хувьсгал. Доод [”Шинэ енгэ” ХХК-д хэвлэв] <著者> 静・書庫 【222.6/Y72/T2】
- ・Өвөр монголчуудыг хэлмэгдүүлсэн цус түүх. дээд боть [出版者不明] <著者> 静・書庫 【222.6/Y72/T1】
- ・Булшар дуурсэн монголын талнугаг. доод боть [出版者不明] <著者> 静・書庫 【222.6/Y72/T2】
- ・交感するアジアと日本 [静岡大学人文社会学部/静岡大学人文社会学部・アジア研究センター] <編著者> 静・開架 【220.04/Y72】
- ・民族自決と民族問題 [風響社] <編著者> 静・開架 【312.227/Y72/7】

◇萱野貴広（教育学部）

- ・キャリア教育を理科で：学習の有用性の実感とキャリア発達 [静岡学術出版事業部] <編著者> 静・開架 【375.2/KA98】

◇貴田潔（人文社会科学領域）

- ・筑後国水田莊故地調査報告書 地誌編・史料編補遺 [海老澤寅研究室] <編著者> 静・書庫 【219.1/KI12】

◇熊野善介（教育学領域）

- ・静岡 STEM ジュニアプロジェクト：平成 26 年度-平成 27 年度次世代科学者育成プログラム=2014-2015：平成 26 年度報告書 [熊野善介] <研究代表> 静・書庫 【375.4/SH94】

◇佐藤誠二（名誉教授）、石川文子・永田守男（人文社会科学領域）

- ・会計のしくみ [森山書店] <著者> 静・開架、静・書庫 【336.9/SA85】

この度は著作物をご惠贈していただき誠にありがとうございます。
図書館では学内出版物及び学内関係者が執筆した図書を収集しています。
今後も著作を刊行された際には是非ご惠贈くださるようお願いします。
(寄贈図書一覧は館別、著作者のお名前の五十音順に配列しています)

◇静岡大学人文社会学部社会学科文化人類学コース（人文社会科学部）

- ・静岡市・用宗地区 [静岡大学人文社会学部社会学科文化人類学コース] <編集> 静・書庫 【382.154/SH94/2014】

◇鈴木宏尚（人文社会科学領域）

- ・池田政権と高度成長期の日本外交 [慶應義塾大学出版会] <著者> 静・開架 【319.1/SU96】

◇田中伸司（人文社会科学領域）

- ・プラトン [講談社選書メチエ・知の教科書] [講談社] <訳者> 静・開架 【131.3/E67】

◇戸部健（人文社会科学領域）

- ・近現代中国の芸能と社会：皮影戯・京劇・説唱 [好文出版] <著者> 静・書庫 【772.22/KI43】
- ・近代天津の「社会教育」：教育と宣伝のあいだ [汲古書院] <著者> 静・書庫 【372.221/T013】

◇富田涼都（農学領域）

- ・在来作物と私 [静岡在来作物研究会] <企画編集> 静・開架 【615/SH94】

◇林弘文（名誉教授）

- ・安全神話が生きている国の浜岡原発についての交渉記録 [「浜岡原発についての交渉記録」編纂委員会] <編集者> 静・書庫 【543.5/H25】

◇林部敬吉（名誉教授）

- ・3 次元視の知覚科学 [ブイツーソリューション] <著者> 静・開架 【141.21/H48】

◇原秀三郎（名誉教授）

- ・學縁：原秀三郎先生傘寿記念文集 [原秀三郎先生傘寿記念文集刊行会] <著者> 静・開架、静・書庫 【289.1/H31H】

◇藤井基貴（教育学領域）

- ・希望をつむぎだす幼児教育：生きる力の基礎を培う子どもと大人の関わり [あいり出版] <執筆> 静・開架 【376.1/B44】

- ・研究倫理の確立を目指して：国際動向と日本の課題 [東北大学出版会] <執筆> 静・開架 【407/T045】

◇増沢武弘（名誉教授）

- ・富士山の極限環境に生きる植物 [建設省中部地方建設局富士砂防工事事務所] <著者> 静・開架 【471.72/MA69】

◇松本繁樹（名誉教授）

- ・静岡の川：急流・暴れ川の大井川・安倍川・天竜川・富士川 [静岡新聞社] <著者> 静・開架 【517.215/MA81】

◇湯浦克彦（情報学領域）

- ・海外事業を成功に導く経理・財務の教科書
[中央経済社] <共著> 静・開架 【336.9/KA91】

◇渡辺明広（元教員）

- ・軽度の知的障害のある生徒の就労を目指した青年期教育 [黎明書房] <編者> 静・開架 【378.6/W46】

●浜松分館受入

◇大野旭（人文社会科学領域）

- ・交感するアジアと日本 [静岡大学人文社会学部]
<編集> 浜・開架 【222.04/Y72】
- ・民族自決と民族問題 [風響社] <編集> 浜・開架
【312.227/Y72/7】

◇熊野善介（教育学領域）

- ・静岡 STEM ジュニアプロジェクト：平成 26 年度-平成 27 年度次世代科学者育成プログラム=2014-2015：
平成 26 年度報告書 [熊野善介] <研究代表>
浜・開架 【375.4/SH94】

◇佐藤誠二（名誉教授）、石川文子・永田守男（人文社会科学領域）

- ・会計のしくみ [森山書店] <共著> 浜・開架【336.9/SA85】

◇静岡大学人文社会科学部社会学科文化人類学コース（人文社会科学部）

- ・静岡市・用宗地区 [静岡大学人文社会科学部社会学科文化人類学コース] <編集> 浜・開架
【382.154/SH94/2014】

◇高口鉄平（情報学領域）

- ・パーソナルデータの経済分析 [勁草書房] <著者>
浜・開架 【007.3/K026】

◇富田涼都（農学領域）

- ・在来作物と私 [静岡在来作物研究会] <企画編集>
浜・開架 【615/SH94】

◇許山秀樹（情報学領域）

- ・中国詩跡事典：漢詩の歌枕 [研文出版(山本書店出版部)] <共著> 浜・開架 【921/U39】
- ・遠江八景：浜名湖周辺の文学碑を訪ねて [中日新聞社] <選定委員> 浜・開架 【910.2/C65】

◇林部敬吉（名誉教授）

- ・3 次元視の知覚科学 [ブイツーソリューション]
<著者> 浜・開架 【141.21/H48】

◇森野聰子（情報学領域）

- ・ディラン・トマス：海のように歌ったウェールズの詩人 [彩流社] <執筆> 浜・開架 【931/TH5K】

◇湯浦克彦（情報学領域）

- ・海外事業を成功に導く経理・財務の教科書
[中央経済社] <共著> 浜・開架 【336.9/KA91】

∞∞ 図書館の動き ∞∞

・平成 27 年度第 1 回附属図書館委員会

<平成 27 年 4 月 22 日（水）>

○審議事項

1. 平成 26 年度第 5 回議事要旨について
2. 附属図書館関連委員会委員等の選出について
3. 井通学校文書について

○報告事項

1. 第二期中期目標期間における附属図書館の年次計画について
2. 平成 27 年度事業計画について
3. 学術リポジトリの登録状況について

・平成 27 年度第 2 回附属図書館委員会

<平成 27 年 7 月 2 日（木）>

○審議事項

1. 平成 27 年度第 1 回議事要旨について
2. 平成 26 年度附属図書館経費決算について
3. 平成 27 年度附属図書館経費予算について
4. 平成 27 年度学生用図書購入費の配分について
5. 図書の不用決定について

○報告事項

1. 井通学校文書について
2. 附属図書館利用状況について
3. 研究室貸出図書の点検について

・平成 27 年度第 3 回附属図書館委員会

<平成 27 年 12 月 17 日（木）>

○審議事項

1. 平成 27 年度第 2 回議事要旨について
2. 図書の不用決定について

○報告事項

1. 平成 27 年度図書館利用セミナーの実施について
2. 国立国会図書館「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の利用開始について
3. 静岡県内公共図書館との相互貸借無料化について
4. 浜松分館整備特定基金の寄附について

◆人事異動

平成 27 年 4 月 1 日付

澤田 均 [附属図書館長任命]

(～平成 29 年 3 月 31 日)]

高松良幸 [附属図書館浜松分館長任命]

(～平成 29 年 3 月 31 日)]

渥美 武 [電子情報係長兼務]

杉山智章 [電子情報係長→レファレンス係長]

渡邊貴子 [レファレンス係長→分館サービス係長]

名波一明 [分館サービス係長→電気通信大学学術情報課情報受入係長]

小野華子 [図書情報係主任→雑誌情報係主任]

松下昭重 [利用サービス係主任→電子情報係主任]

森部圭亮 [雑誌情報係員→利用サービス係員]

青池菜衣 [レファレンス係員→図書情報係員]

袴田美里 [レファレンス係員 (新規採用)]

平成 27 年 5 月 1 日付

村上真佐子 [分館資料係員→事務局付]

平成 27 年 7 月 1 日付

中込崇 [分館サービス係員→分館サービス係主任]

図書館開館日程 [2016年4月～2016年9月]



9:00～22:00
10:00～19:00
10:00～17:00
9:00～17:00
休館日



静岡本館

※開館日・開館時間は変更することがあります。臨時に休館する場合は、別途お知らせします。

2016年4月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

5月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

6月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

7月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

8月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

9月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

浜松分館

※開館日・開館時間は変更することがあります。臨時に休館する場合は、別途お知らせします。

2016年4月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

5月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

6月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

7月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

8月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

9月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

静岡大学附属図書館報「図書館通信」第168号（平成28年3月24日発行）

発行所 静岡大学附属図書館 URL <http://www.lib.shizuoka.ac.jp>

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

TEL.054-238-4473 Fax.054-238-5408 (再生紙使用)

